

製品名: IGFBP1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12428**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 28kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | IGFBP1 |
| 別名 | IGFBP1; IBP1; Insulin-like growth factor-binding protein 1; IBP-1; IGF-binding protein 1; IGFBP-1; Placental protein 12; PP12 |
| 遺伝子 ID | 3484.0 |
| SwissProt ID | P08833 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト IGFBP1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140 |

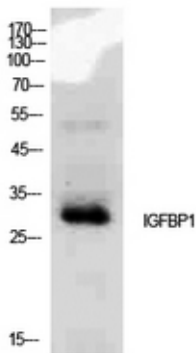
背景

この遺伝子はインスリン様成長因子結合タンパク質 (IGFBP) ファミリーのメンバーであり、IGFBP ドメインとチログロブリン I 型ドメインを持つタンパク質をコードしています。このタンパク質はインスリン様成長因子 (IGF) I と II の両方に結合し、血漿中を循環します。このタンパク質の結合により、IGF の半減期が延長し、細胞表面受容体との相互作用が変化します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: IGF 結合タンパク質は IGF の半減期を延長し、細胞培養における IGF の増殖促進効果を阻害または促進することが示されている。IGF と細胞表面受容体との相互作用を変化させ、細胞遊走を促進します。、PTM: リン酸化; おそらくカゼインキナーゼ II による。IGF に対するタンパク質の親和性を変化させます。、類似性: IGFBP N 末端ドメインを 1 つ含みます。、類似性: 甲状腺グロブリン 1 型ドメインを 1 つ含みます。、サブユニット: IGF1 と IGF2 に等しく結合します。、

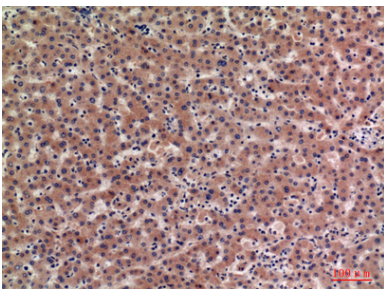
研究分野

シグナル伝達

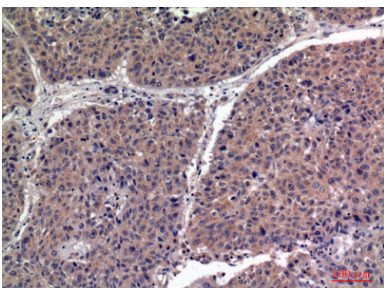
画像データ



IGFBP1 ポリクローナル抗体を用いた MCF7 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された